



【審査証明番号／有効期限】	BCJ-審査証明-264/2024年7月22日
【技術の名称】	補強布不要型 環境配慮型ウレタン塗膜防水工法 「凄極膜(すごまく)防水工法」
【依頼者(審査証明取得者)】	保土谷建材株式会社

【技術概要】

「凄極膜(すごまく)防水工法」は、JIS A 6021:2011 ウレタンゴム系高伸長形及び高強度形の両規格に適合した特定化学物質障害予防規則に非該当の環境配慮型ウレタン防水材「凄極膜(すごまく)」を用いたウレタンゴム系塗膜防水工法である。補強布の積層無しで補強布有りと同等の塗膜厚とした本工法は、X-2工法と同等以上の性能が発揮されることから、補強布の敷設作業を省略でき、施工の省力化が図れる防水工法である。

コンクリート・モルタル下地用

公共建築・改修工事標準仕様(平成28年度版)X-2及びX-2V仕様対応

建築工事標準仕様書・同解説 JASS8防水工事(2014年改訂版) L-UFS仕様対応

平場部 密着工法 G-30-D工法 (平均塗膜厚3.0mm)

工 程 ・ 材 料	使用量 (kg/m ²)	摘 要
1 ミリオプライマー30Ⅲ ※1	0.2	ローラー、刷毛など
2 凄極膜(すごまく)	1.8	金ゴテ、ゴムヘラなど
3 凄極膜(すごまく)	1.8	金ゴテ、ゴムヘラなど
4 HCエコトップゼロ	0.2	ローラー、刷毛

立面部 密着工法 G-20V-D工法 (平均塗膜厚2.0mm)

工 程 ・ 材 料	使用量 (kg/m ²)	摘 要
1 ミリオプライマー30Ⅲ ※1	0.2	ローラー、刷毛など
2 凄極膜(すごまく) ※2	1.2	金ゴテ、ゴムヘラなど
3 凄極膜(すごまく) ※2	1.2	金ゴテ、ゴムヘラなど
4 HCエコトップゼロ	0.2	ローラー、刷毛

※1 ミリオプライマー30ⅢはミリオCB-30-Ⅲセメントを混合(推奨重量比1:0.5~1)したものです。

※2 添加剤は2~3%(重量比)の範囲内で調整し、添加して下さい。

ウレタン下地 増し塗り用

公共建築・改修工事標準仕様(平成28年度版)X-2及びX-2V仕様対応

建築工事標準仕様書・同解説 JASS8防水工事(2014年改訂版) L-UFS仕様対応

平場部 密着工法 G-30-D工法 (平均塗膜厚3.0mm)

工 程 ・ 材 料	使用量 (kg/m ²)	摘 要
1 HCプライマーNB	0.1~0.15	ローラー、刷毛など
2 凄極膜(すごまく)	1.8	金ゴテ、ゴムヘラなど
3 凄極膜(すごまく)	1.8	金ゴテ、ゴムヘラなど
4 HCエコトップゼロ	0.2	ローラー、刷毛

立面部 密着工法 G-20V-D工法 (平均塗膜厚2.0mm)

工 程 ・ 材 料	使用量 (kg/m ²)	摘 要
1 HCプライマーNB	0.1~0.15	ローラー、刷毛など
2 凄極膜(すごまく) ※	1.2	金ゴテ、ゴムヘラなど
3 凄極膜(すごまく) ※	1.2	金ゴテ、ゴムヘラなど
4 HCエコトップゼロ	0.2	ローラー、刷毛

※ 添加剤は2~3%(重量比)の範囲内で調整し、添加して下さい。

【開発の趣旨】

強靱性と柔軟性を両立したハイスペックのウレタン塗膜防水材を目指し、JIS A 6021 ウレタンゴム系高伸長形及び高強度形の両規格に適合する環境配慮型ウレタン防水材「凄極膜(すごまく)」を開発した。

この防水材の塗膜は、単独で従来の補強布を積層する密着工法(X-2工法)と同等以上の防水性能を発揮することから、この防水材を用いて補強布の敷設作業を省略し、省力化を実現する防水工法を開発した。

【開発目標および審査証明結果】

(1) 「凄極膜(すごまく)」防水工法は、高伸長、かつ高強度タイプのウレタン塗膜防水材を用いることで、補強布無しでも在来工法(高伸長形による密着工法)と同等の防水層の性能を有すること。

(2) 「凄極膜(すごまく)」防水工法は、依頼者の在来工法と比較して、補強布工程を省略することで、施工工程の省力化が図れていること。



before



after

【本技術の問い合わせ先】

企業名：保土谷建材株式会社

部署名：技術部 開発研究所

T E L : 045-521-1325

F A X : 045-521-1329

部署名：営業部

T E L : 03-5299-8170

F A X : 03-5299-8275